

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

単位＝％

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100			新しい施設になり、スペース等確保し、安全に過ごせるよう配慮をしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	100			指導員を多く配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100			バリアフリー化されています。また、個別対応のできる空間も確保しています。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100			会議や日常の振り返りの時間を設けています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100			保護者様からの意向は、全職員の共通理解となるよう努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		100		今まで施設内での公表でしたが、今後ホームページ等の公表を行っていきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100	現在、実施しておりません。今後の対応を検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100			個人の研修の機会を設けるほか、会議等を通して伝達研修を行っています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			保護者様からのアンケートも用いています。
適切 な 支 援 の 提 供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100			職員間の共通理解をより深めていきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100			会議の場を設け、より良いプログラムが立案できるよう努めております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100			経験を通して個々の支援に繋がるよう、意見を出し合いながら行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100			休日や、長期休暇を利用し経験や体験ができる支援を設定し行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			お子様の成長の様子も踏まえ、個別活動、集団活動を組み合わせ行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100			紙ベースでも伝え、確認しながら行っております。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100			各自意見の出し合える環境づくりをし、支援につながるよう努めています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			必要な内容を記録に残すよう心掛け、改善に努めています。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100			特定の職員だけではなく職員全体で判断しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100			組み合わせながら、行っております。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100			参画する際には、他職員の話も取り入れながら多角的な視点で情報伝達ができるよう努めています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100			ご家庭からの連絡も含め適切に進められるよう努めています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			100	現在、医療的ケアを必要としたお子様や重症心身障害のあるお子様をお受けしておりません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100			担当者会議の他、お子さんの変化に応じて情報の共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100			提供の要請があった際は、提供できる体制を整えておきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			100	担当者会議等で助言を受けておりますが、研修の機会を増やしていきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			100	公共の場での交流はありますが、改めて場を設けていないため、交流の持てる機会を設けたいと考えております。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			100	地域のネットワーク会議を含め参加に努めておりますが、今後は参加職員を管理者にとどめず、地域福祉の現状を知るためにも多くの職員が参加できるよう検討していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			コミュニケーションを大切に、伝え合える場を増やせるよう努めます。

	⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100			子育ての相談など、ご家族の皆様へ寄り添った支援を心がけていきます。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			今後も継続していきます。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100			ご相談の際には、必要な助言や支援に努めていきます。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100	父母の会の活動は行っておりませんが、行事を通して保護者様同士の交流が持てるよう進めていきます。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100			今後とも適切な対応に努めていきます。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100			迅速な発信が行えるよう努めていきます。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	100			事前に取り扱いについて確認しておりますが、写真掲載等についてはその都度確認を行います。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			その都度必要なツールを使用し情報伝達に努めていきます。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			100	現在、地域住民の方を招待する行事等行っておりません。今後、検討していきます。
	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100			その都度、必要な対応を検討していきます。
非常時等の対応	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100			月ごとに訓練内容を変え行っています。
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			研修に参加し、職員が共通理解できるよう努めています。
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100			現在、身体拘束を必要とされるお子様はおりませんが、必要となった際は、十分な説明と支援計画の記載を行います。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100			必要な対応が取れるよう、職員の共通理解に努めます。
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100			事業所内で共有し、法人内でも会議を行い意見を求めています。